

下松市・記者発表（配布）資料

令和6年12月17日

部 課 名	連 絡 先 (直 通)
地域振興部 地域交流課	0833-45-1820
1. 件 名	「NPB12球団ジュニアトーナメントKONAMI CUP 2024」 出場選手 市長訪問
2. 目 的	令和6年12月26日～29日に開催される上記大会に、旗岡スポーツ少年団所属の選手が、広島東洋カープジュニアとして出場するため市長訪問を行うもの。 (広島東洋カープジュニアとは、NPBジュニアトーナメントに出場するために中国地区5県の選手で結成される小学生軟式野球選抜チームです。)
3. 日 時	令和6年12月24日(火) 16時～
4. 場 所	下松市役所3階 市長応接室
5. 主催等	【主催】下松市
6. 内 容	1 出席者紹介 2 監督・出場選手挨拶 3 市長あいさつ 4 激励金贈呈 5 写真撮影 6 交流(歓談)
7. 参加者 (敬称略)	【旗岡スポーツ少年団】 監 督 管田 治 (かんだ おさむ) 選 手 山根 朔弥 (やまね さくや) 花岡小6年 【下松市】 下松市長 國井 益雄 地域振興部長 真鍋 俊幸
8. その他	大会概要は別紙のとおり

NPB12 球団ジュニアトーナメント KONAMI CUP 2024
～第 20 回記念大会～

■公式タイトル

NPB12 球団ジュニアトーナメント KONAMI CUP 2024 ～第 20 回記念大会～

■主催

一般社団法人日本野球機構、NPB12 球団

■特別協賛

株式会社コナミデジタルエンタテインメント

■協賛

株式会社ローソン、名鉄観光サービス株式会社

■協力

ナガセケンコー株式会社

■運営協力

公益財団法人全日本軟式野球連盟、公益財団法人東京都軟式野球連盟、埼玉県野球連盟

■NPB パートナー

カルビー株式会社、株式会社コナミデジタルエンタテインメント、大正製薬株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社マイナビ、株式会社三井住友銀行、株式会社ローソン（50 音順）

■日程

12 月 26 日（木）大会 1 日目（予選トーナメント 8 試合）

12 月 27 日（金）大会 2 日目（予選トーナメント 7 試合、交流試合 1 試合）

12 月 28 日（土）大会 3 日目（ワイルドカード決定戦 1 試合、準決勝 2 試合）

12 月 29 日（日）大会最終日（決勝戦）

12 月 30 日（月）予備日

* 表彰式（優勝、準優勝、3 位表彰）

■大会会場

明治神宮野球場（全日程）

ベルーナドーム（12月26日、27日 ※予備日28日）

■一般入場

観戦無料

■放送予定

J SPORTS、DAZN、SwipeVideo、NPB 公式 YouTube チャンネル

■出場チーム

セントラル・リーグ

読売ジャイアンツジュニアチーム（西村健太郎監督）

東京ヤクルトスワローズジュニアチーム（度会博文監督）

横浜 DeNA ベイスターズジュニアチーム（荒波翔監督）

中日ドラゴンズジュニアチーム（山北茂利監督）

阪神タイガースジュニアチーム（玉置隆監督）

広島東洋カープジュニアチーム（天谷宗一郎監督）

パシフィック・リーグ

北海道日本ハムファイターズジュニアチーム（吉田侑樹監督）

東北楽天ゴールデンイーグルスジュニアチーム（寺岡寛治監督）

埼玉西武ライオンズジュニアチーム（星野智樹監督）

千葉ロッテマリーンズジュニアチーム（塀内久雄監督）

オリックス・バファローズジュニアチーム（塩崎真監督）

福岡ソフトバンクホークスジュニアチーム（帆足和幸監督）

■招待チーム

オイシックス新潟アルビレックス BC ジュニアチーム（山口祥吾監督）

くふうハヤテベンチャーズ静岡ジュニアチーム（中村勝監督）

ルートイン BC リーグジュニアチーム（加藤幹典監督）

四国アイランドリーグ plus ジュニアチーム（駒居鉄平監督）

■チーム編成

各球団が推薦および編成したチーム。小学校 5、6 年生で編成される。

■試合方法

トーナメント方式（TQB 方式採用）

※TQB（Total Quality Balance）

2 試合の結果から優位性の高いチームを選出、1 イニング平均得失点差による数値が高いチームが優位

※ただし荒天等により変更になる場合もある

TQB 方式について

○決勝トーナメントチーム選出方法

2 勝 3 チーム ⇒ TQB 方式で数値が高い順に 1 位、2 位、3 位のシード権を獲得

ワイルドカード 1 チーム

○ワイルドカード進出チーム選出方法

下記算式を用いて、1 勝 6 チームの 2 試合の試合結果を元に、TQB 方式で最も高い数値のチームと invitation 枠を勝ち抜いたチームの対戦で勝利した 1 チームが進出

<算式>

$(\text{総得点} \times 3 / \text{攻撃イニングアウトカウント総数}) - (\text{総失点} \times 3 / \text{守備イニングアウトカウント総数})$

○全試合に勝敗付け

同点時 ⇒ タイブレーク方式の採用

（タイブレークのイニングは TQB の計算には含まない）

コールドゲームの採用（5 回 7 点差の場合）

○決勝トーナメント進出チームのアドバンテージ

2 勝 3 チームの TQB1 位チームとワイルドカード進出チームが準決勝第 2 試合の対戦とする

TQB 方式による優位性の高いチームが先攻・後攻の決定権を有する

※ただしワイルドカードで進出したチームには本優先権はない

○試合球

全日本軟式野球連盟公認球（軟式 J 号）